

ものづくり

探訪 8

今月は
東北東ソー化学株式会社



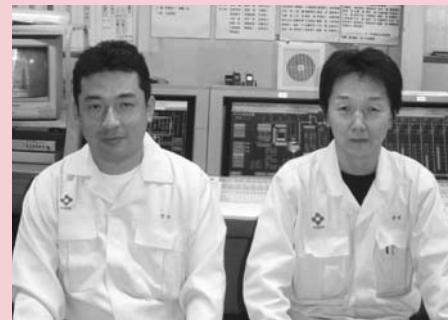
本社・酒田工場

産業クラスター創造事業
さかた技術者ネットワーク構成員

東北東ソー化学株式会社

電解課
菅原 清さん(右側)

高晒課
竹内 浩さん(左側)



平成22年6月に設立された「さかた技術者ネットワーク」。市内企業の若手技術者で構成されるメンバーが、企業が持つ優れた技術力や製品を紹介します。

生活に欠かせない化学製品を製造

菅原 当社は昭和12年に(株)鐵興社酒田大浜工場として開設されました。月山の豊富な水を利用し、水力発電による電力を使った総合電気化学工場としてスタートしました。

竹内 現在、酒田工場では苛性ソーダ、塩素、他関連製品を製造しています。身近な所では市内小牧などの浄水場で苛性ソーダは中和用に、次亜塩素酸ソーダは消毒用に、ポリ塩化アルミニウムは濁りを取る凝集剤として使用されています。また融雪用の塩化カルシウムやプールの水を殺菌する高度さらし粉など、生活に欠かせない化学製品を製造しています。

塩水の電気分解技術が基盤

菅原 製造の基盤技術は、理科の実験でおなじみの電気分解です。塩水に電気を流すと、苛性ソーダ・塩素・水素が発生します。この電気分解には大量の電気を使用するため、東北電力から購入する他、東日本大震災以降は休止していた自家発電所を期間を区切って再稼働させました。フル能力では酒田市全世帯の使用電力を賄う量に相当します。

東北地方に根差した化学会社として、今後も製品の安定供給に努めていきます。

苛性ソーダの製造工程



高度さらし粉(殺菌用)の製品各種

1 原料塩は海水を天日干して作られたものを輸入しています



2 電解用の電力を発電します
(大型ディーゼルエンジンで発電)



4 専用タンクローリーで出荷します



3 電解槽で電気分解します



[企業の概要]

昭和12年に(株)鐵興社酒田大浜工場として開設。昭和50年に東洋曹達工業(株)と合併。昭和58年に分離独立し東北東ソー化学として営業開始。

商号：東北東ソー化学株式会社
資本金：20億円

本社：酒田工場
住所：酒田市大浜1-4-16
代表者：取締役社長 大野 省太郎

従業員数：109人
事業内容：液体苛性ソーダ、塩酸、液体塩素、次亜塩素酸ソーダ、液体塩化カルシウム、塩素化パラフィン、ポリ塩化アルミニウム、高度さらし粉、酸化インジウム、ITO粉などの無機化学品の製造(酒田工場)